

業務用油だき可搬形ヒータ熱風式直火形



取扱説明書

ホットガン 125エヌツー

お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができるところに大切に
保管してください。


もくじ


まえがき	2
1. 特に注意していただきたいこと	2
2. 各部の名前	4
3. 使用方法	5
4. 点検・手入れ・保管	7
5. 故障・異常時の処置方法	9
6. 仕様	9
7. 安全ラベルの一覧	10
8. 別売部品について	10
9. アフターサービス	11


＊ ＊ ま え が き ＊ ＊


- ◆ この取扱説明書には、この製品を安全に、正しくお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。

注意事項は「危険」、「警告」、「注意」に区分されています。表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。

 **危険** この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。

 **警告** この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災のおそれと想定される内容を表示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が傷害を負うおそれや物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

 注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1. 特に注意していただきたいこと

危険

1. ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

2. 可燃性ガス雰囲気での使用厳禁（防爆構造ではありません）

可燃性ガスが充満している雰囲気では絶対に使用しないでください。火災、爆発のおそれがあります。

3. 換気必要

換気を十分に行えない場所では使用しないでください。換気せずに使用し続けしないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生し、中毒になるおそれがあります。使用中は必ず換気をして新鮮な空気を補給してください。

警告

1. 一般家庭での使用禁止

この機械は物の加温、乾燥を目的とした業務用ヒータです。家庭用として使わないでください。火力が強いため、密閉した場所で使用すると火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

2. スプレー缶厳禁

スプレー缶など密閉容器を加熱したり、熱の当たるところに置かないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発し、ケガをすることがあります。

3. 可燃性粉じん厳禁

可燃性粉じん（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生する場所では使用しないでください。ヒータ内に吸い込まれると加熱され火の粉になって吹き出されるので火災の原因になります。

4. 高温部に注意

燃焼中や、消火後約30分間は、高温部・吐出口周辺に手など触れないようにしてください。やけどします。

5. 閉塞危険

空気取入口や熱風吹出口をふさがないでください。ふさぐと、異常燃焼や、火災の原因になります。

6. 改造使用の禁止

改造して使用しないでください。故障・火災等の原因になります。

7. 感電注意

雨水、雪などのかかる場所や湿度の高いところでは使用しないでください。濡れた手で操作しないでください。日常の点検、手入れ、別売部品の取付けの際は必ず消火し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電・故障するおそれがあります。

8. 空気取入口変形・破損時の使用禁止

空気取入口の保護網が変形、破損した場合は使用を中止し販売店に連絡してください。送風ファンに身体や物が吸い込まれたり、吸い込まれたものが飛び出し、ケガの原因になります。



1. 可燃物からの距離確保

可燃物は、吐出口の前方から2.5m以上、左右側方、後方および上方から2m以上離してください。火災の原因になります。

2. 遮へい物不可

吐出口前方1m以内には遮へい物を置かないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

3. 使用時の周囲温度に注意

ヒータを使用するときは、 -20°C ～ 40°C の周囲温度でお使いください。
特に周囲温度が 40°C 以上になりますとヒータが過熱され、火災の原因になります。

4. 標高の高いところでの使用禁止

標高1000m以上の場所で使用する場合は調整が必要です。調整は販売店に相談してください。
そのまま使用すると、異常燃焼や火災の原因になります。

5. ヒータ使用場所の制限

災害・傷害などを未然に防ぐために、次のような場所では使用しないでください。

- ・使用床面が振動する場所
- ・使用床面が傾斜している場所（水平でないところ）
- ・階段、非常口（避難口）、部屋の出入口等
- ・周囲に不安定な積荷のある場所
- ・風の強い場所や湿気が多い場所、ほこり・金属粉の浮遊している場所
- ・その他、人の移動に障害となる場所等

※ 本製品は「裸火」に該当します。

不特定多数の人が出入りする場所で使用するときは、消防署の許可を取ってお使いください。

- ・百貨店の売り場、顧客の出入りする場所
 - ・劇場、公会堂、集会場の舞台、客席
- （上記以外は使用地域の消防署にお問合せください）

6. ダクト接続禁止

ヒータの吐出口に直接ダクトなどを接続しないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

7. 点火操作後、吐出口接近禁止

点火操作した後、吐出口内をのぞき込んだりしないでください。やけどします。

8. 点火操作の繰り返し禁止

点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上操作を繰り返さないでください。
火災の原因になります。使用を中止し販売店に連絡してください。

9. 異常時使用禁止

におい、煙の発生など異常燃焼を起こしたときは、直ちに使用を中止し、販売店に連絡してください。
そのまま使用すると、火災の原因になります。

10. 給油時消火

給油は必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。

11. 床面高温注意

ヒータを使用するときは、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。

12. 燃焼中移動禁止

ヒータを火のついたままで移動しないでください。やけどのおそれがあります。
また、転倒すると火災の原因になります。

13. 電圧注意

電圧は単相交流100V（90～110V）で使用してください。
間違った電源を使用しますと火災・感電・故障の原因になります。

14. アースコード未接続での使用禁止

アースコードを接続してください。接続しないで使用しますと感電のおそれがあります。
P. 5（3-1運転準備）を参照してください。

15. 電源プラグ引き抜き注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って行ってください。
電源プラグが損傷し、火災・感電の原因になります。

16. 電源コード破損注意

電源コードは、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟みこんだり、加工しないでください。重いものを載せるなどの破損の原因となることは避けてください。火災・感電の原因になります。

17. 消火の確認

消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。

18. 軍手着用

吐出口・空気取入口内を掃除するときには、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。

19. 無人運転時の注意

サーモスタット・タイマーを取付けた場合、無人状態でも自動的に着火します。吐出口前方の可燃物や遮へい物など周囲に燃えやすい物を置かないでください。火災の原因になります。

20. サーモスタット感温部設置場所注意

サーモスタットを取付けた場合、サーモスタットの温度感知部は温風が直接当たるところに置かないでください。頻繁にON（燃焼）/OFF（消火）を繰り返し、故障の原因になります。

21. 移動用ハンドル挟み込み注意

ヒータの移動や持ち上げの際は、ハンドルの間に手や指を挟み込まないように注意してください。ケガの原因になります。

22. 保管時の注意

保管するとき、または長期間使用しない場合は、必ず油タンクを空にしてください。灯油が漏れて火災の原因になります。

23. 段積み保管は3段以下

段積み保管するときには、3段積み以下にし、柱などにしっかり固定してください。4段積み以上になると安定が悪くなり、転倒のおそれがあり危険です。

24. 譲渡時の「取説」添付の励行

ヒータを譲渡するときには、「取扱説明書」を必ず添付してください。

25. 廃棄時の不法投棄禁止

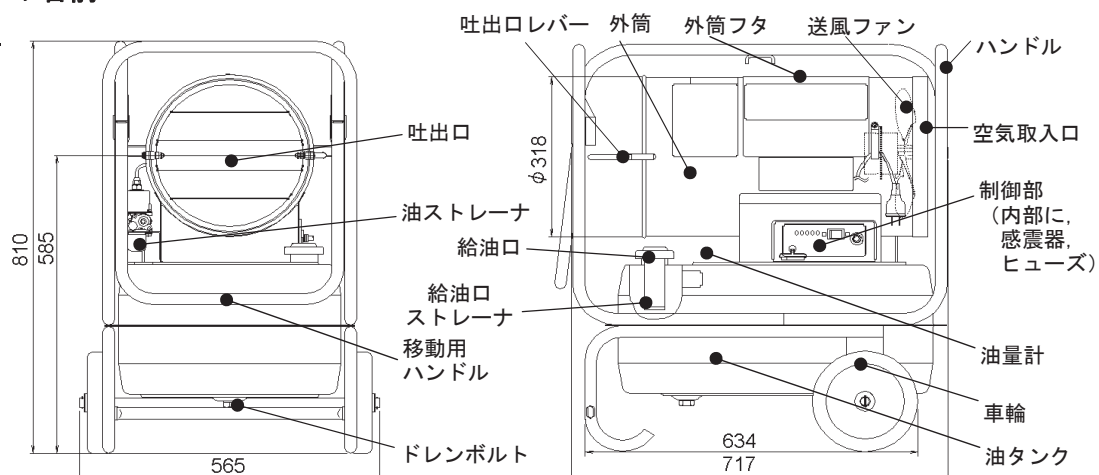
ヒータを廃棄するときには、必ず専門業者に依頼してください。絶対に不法投棄はしないでください。

26. 輸送時の注意

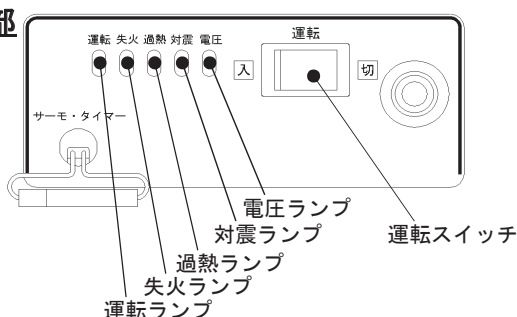
燃料を入れたまま輸送しないでください。転倒や振動により油タンク内の燃料が漏れて火災の原因になります。

2. 各部の名前

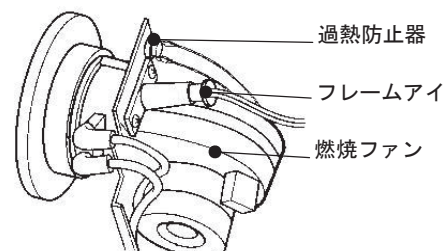
本体



スイッチ部



バーナ部



★安全装置の説明

炎監視 (フレームアイ)	点火ミスや燃焼中に失火したときに、自動的に消火します。 点火前にフレームアイの異常を検出したときに、運転を停止します。 作動状態： 失火ランプが点滅し、3分間のファンによる冷却（以下、ポストパーズ）を行います。
過熱防止 (過熱防止器)	ヒータが異常に過熱したときに、自動的に消火します。 作動状態： 過熱ランプが点滅し、燃焼作動中のときは、3分間のポストパーズを行います。
対震自動消火 (感震器)	燃焼中に振動や衝撃を受けたときに、自動的に消火します。 作動状態： 対震ランプが点滅し、燃焼作動中のときは、3分間のポストパーズを行います。
異常高電圧検知	異常高電圧に、電源プラグを差し込んだときに運転を禁止します。 作動状態： 失火・過熱・対震・電圧ランプが点灯し、運転作動できません。
電圧低下検知	運転中に電源電圧が異常に低下したとき、警報を発します。 作動状態： 電圧ランプが点灯しますが、運転は継続します。
ファン回転 異常検知	運転中に燃焼ファンの動作に異常が生じたときに、自動的に消火します。 作動状態： 電圧ランプが点滅し、燃焼作動中のときは、3分間のポストパーズを行います。
過負荷保護 (ヒューズ)	機器の故障などの異常によって過電流が流れたときに、電源を遮断します。 作動状態： 全停止します。
停電時安全	運転中の停電発生から電源が復帰したときに、自動的に運転を開始することを禁止します。 作動状態： 運転・失火・過熱・対震・電圧ランプが点滅し、点火・燃焼ができません。

3. 使用方法

3-1. 運転準備

⚠ 危険 ・ ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

⚠ 注意 ・ 給油は、必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。

- ・ 電源は、単相交流100V（90～110V）で使用してください。間違った電源を使用しますと火災、感電、故障の原因になります。
- ・ アースコードを接続してください。接続しないで使用すると感電のおそれがあります。
- ・ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って行ってください。電源コードは、無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

★給油

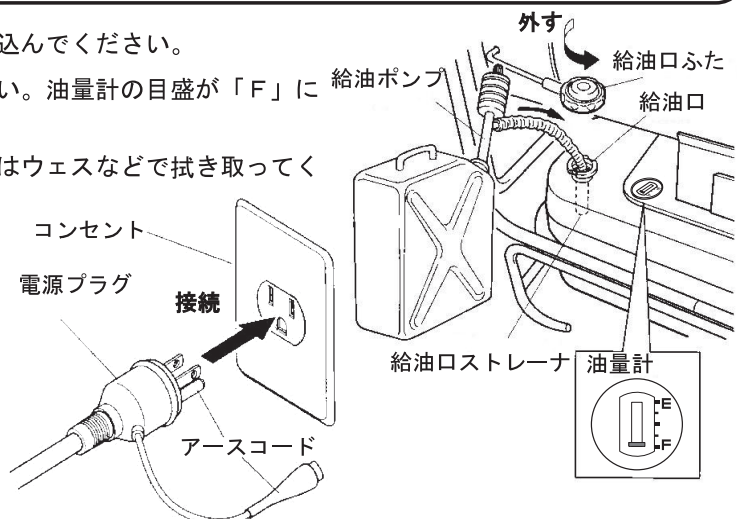
お願い

- ・ 給油口ストレーナにゴミが付いていないか点検してください。ゴミが付いていたら給油口ストレーナを取出して、灯油で洗ってください。このときに使った灯油は、油タンク内に戻さないでください。
- ・ 必ず灯油（JIS1号灯油）を使用してください。変質灯油、不純灯油などは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。

1. 給油口ふたを外して、給油ポンプを差し込んでください。
2. 油量計を見ながら灯油を給油してください。油量計の目盛が「F」になったら、給油を停止してください。
3. 給油口ふたを確実に締め、こぼれた灯油はウェスなどで拭き取ってください。

★電源の接続

1. 運転スイッチが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに接続してください。
2. アースコードを接続してください。



3-2. 運転操作方法

⚠ 注意 ・ におい、煙の発生など異常な燃焼を起こしたときは、直ちに使用を中止し、販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。

・ 点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作を繰り返さないでください。火災の原因になります。使用を中止し販売店に連絡してください。

・ ヒータを使用するときは、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。

★点火操作

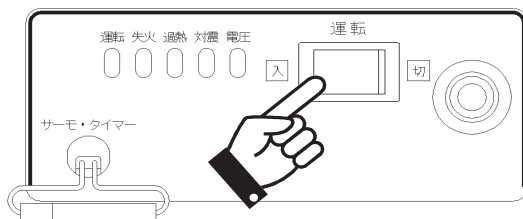
お願い

- ・ 着火の確認をするまで、離れないでください。火がついていないおそれがあります。
- ・ 油タンク内、エレメントが汚れたまま運転しないでください。着火不良や異常な燃焼を起こす原因になります。

1. 油量計で灯油が入っていることを確認してください。
2. 運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプが点灯し、約5秒後に着火します。

着火しなかった場合の再度の点火操作

一度、消火操作(下記参照)を行い、運転ランプが消灯した後に、点火操作を行ってください。



★消火操作

⚠ 注意 ・ 消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。

お願い

- ・ 電源プラグをコンセントから抜くときは、送風ファンが停止したことを確認してください。

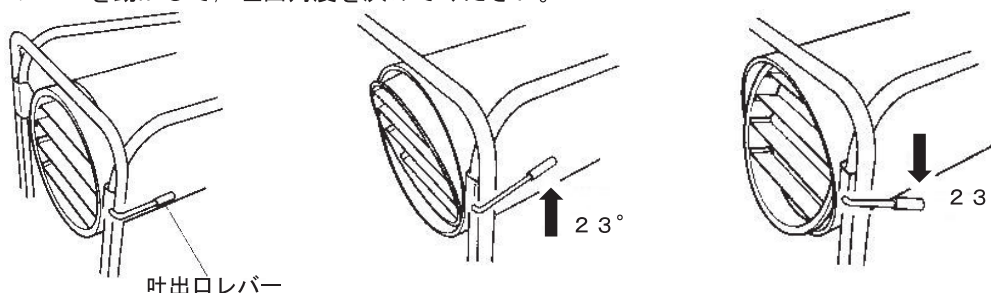
1. 運転スイッチを「切」にしてください。燃焼が停止し、約3分後にファンが自動的に停止し、運転ランプが消灯します。

★吐出口角度調整

⚠ 警告 ・ 角度調整するときは、ヒータが冷えた状態で行ってください。燃焼中や、消火後約30分間は、高温部・吐出口周辺に手など触れないようにしてください。やけどします。

⚠ 注意 ・ ヒータを使用するときには、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。

1. この調整では、吐出口の角度を上下23度まで変えることができます。吐出口レバーを動かして、吐出角度を決めてください。



4. 点検・手入れ・保管



- ・ 日常の点検、手入れの際は必ず消火し、電源プラグを抜いて行ってください。感電のおそれがあります。
- ・ ヒータが冷えた状態で行ってください。特に、消火後約30分間は、高温部・吐出口周辺に手など触れないようにしてください。やけどします。

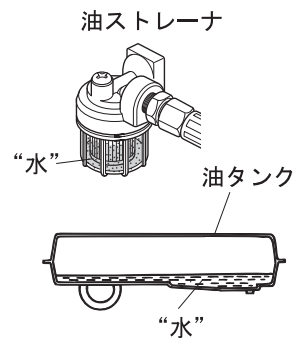
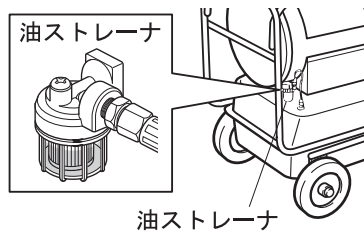
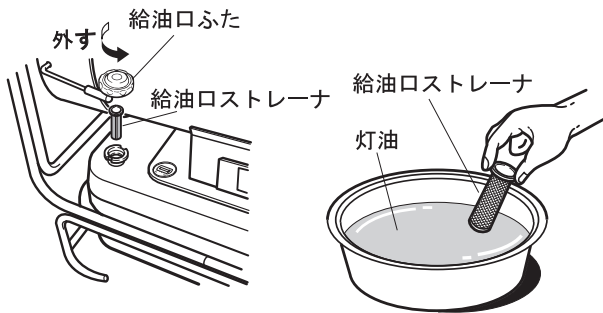
4-1. 日常の点検と手入れ

お願い

- ・ 給油ロストレーナの洗浄に使った灯油を油タンクに入れたり、油タンク内の点検時に取出した汚れた灯油を油タンクに戻さないでください。故障の原因になります。
- ・ 外した油ストレーナのカップは、締付リングで元通りに確実に締め付けてください。確実にない場合は空気を吸い込み着火できません。

★給油口オイルストレーナ汚れ点検

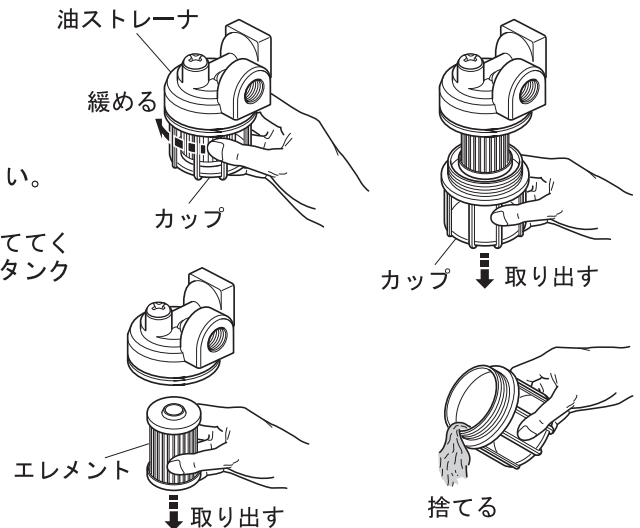
1. 給油口ふたを外し、給油口にはめられている給油ロストレーナを外してください。
2. 給油ロストレーナにゴミが付いていたら、きれいな灯油で洗ってください。
3. 給油ロストレーナを給油口にはめ込み、給油口ふたを確実に締めてください。



★エレメントの点検と油タンクの水抜き

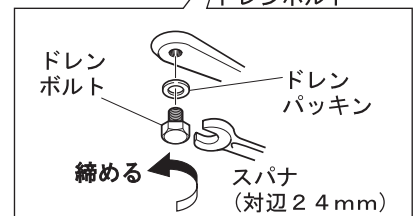
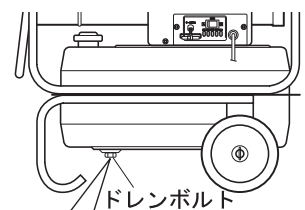
エレメントの点検

1. エレメントの汚れを点検してください。
2. エレメントが汚れている場合には、新品と交換してください。（カップを確実に締め付けてください。）
3. カップ内に水が溜まっている場合は、カップ内の灯油を捨ててください。また、油タンク内に水が溜まっていますので、油タンクの水抜きをしてください。（下記参照）



油タンクの水抜き

1. 給油口ふたを外し、給油ロストレーナを外して、給油ポンプを差し込んでください。
2. 給油ポンプが油を吸い込まなくなるまで、灯油を抜き取ってください。
3. 給油ロストレーナをはめ、給油口ふたを確実に締めてください。
4. 給油ポンプで取りきれなかった灯油または水の混じった灯油を排出しますので、約3ℓ分の空容器を用意し、ドレンボルトの下に置いてください。
5. 次に、ドレンボルトをスパナなどで外し、油タンクをドレン側に傾けて、灯油を完全に排出してください。（このとき、ドレンパッキンをなくさないように注意してください。）
6. ドレンボルトにドレンパッキンを入れ、パッキンが密着し、油漏れがないように確実に締め付けてください。
7. 油タンクについた灯油や水は、ウェスなどで拭き取ってください。



★本体の点検

⚠警告 ・空気取入口の保護網が変形、破損した場合は使用を中止し販売店に連絡してください。送風ファンに身体や物が吸い込まれたり、吸い込まれたものが飛び出し、ケガの原因になります。

⚠注意 ・吐出口・空気取入口内を掃除するときには、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。

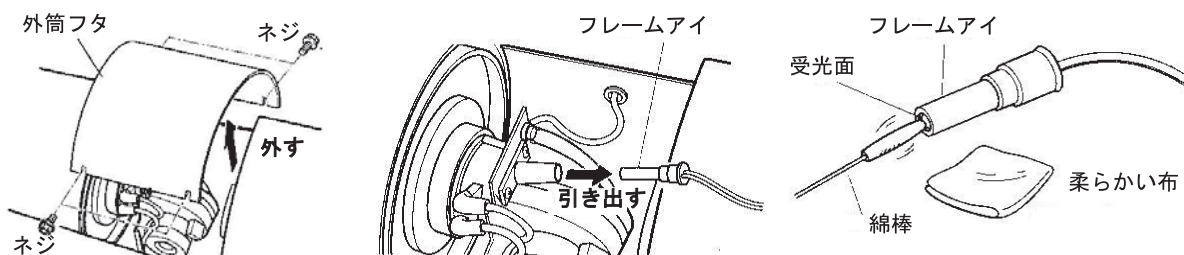
1. 各部のボルト、ネジに緩みがないか点検してください。
緩みがある場合は確実に締め付けてください。
2. 各部に変形、破損がないか点検してください。
変形、破損がある場合はお買い求めの販売店、またはサービス店に連絡してください。
3. ヒータ本体周りにごみやほこりがたまっていないか点検してください。
ほこりがたまっている場合には、掃除機で吸い取るか、ウェスなどで拭き取ってください。

★炎監視装置の点検・掃除

お願い

・フレームアイを引き出すときは、フレームアイ本体を持って行ってください。

1. 外筒フタを外し、フレームアイを引き出して受光面の汚れを点検してください。
2. 受光面が汚れている場合は、綿棒もしくは柔らかい布で、透明になるまで拭いてください。
3. フレームアイをはめ込み、外筒フタをネジで確実に取付けてください。



★対震自動消火装置の作動点検

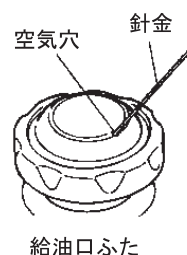
(この点検のみ燃焼運転中に行ってください)

⚠警告 ・対震自動消火装置の作動点検は、高温部・吐出口周辺を持って行わないでください。やけどします。

1. 燃焼運転しているヒータの空気取入口側のハンドルを持ち、ヒータを上下・左右に激しく揺すってください。
2. ヒータを元の位置に戻してください。
3. 対震ランプが点滅し、消火するか確認してください。
消火しない場合はお買い求めの販売店、またはサービス店に連絡してください。

★空気穴の掃除

1. 給油口ふたの空気穴に針金を差し込んで、ごみを取り除いてください。



★定期点検

1. シーズン終了後などにお買い求めの販売店、またはサービス店に点検依頼してください。

4-2. 保管（長期間使用しない場合）

⚠注意 ・保管するとき、または長期間使用しない場合は、必ず油タンクを空にしてください。灯油が漏れて火災の原因になります。

1. 保管される場合には、電源プラグをコンセントから抜き、屋内の湿気の少ない場所に保管してください。

5. 故障・異常時の処置方法

◎ 次のような現象は異常ではありません。

修理サービスをお申し付けになる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因
初めての使用のとき、煙やにおいが出る。	ほこりや油分などが焼けるためです。 しばらくするとなくなります。
初めての使用のとき、本体から灯油が垂れる。	配管内の空気が抜けるまで着火しないため、ノズルから噴出された灯油が本体から垂れる場合があります。この場合は、灯油をウェスなどで拭き取ってから点火操作を行ってください。
点火時および消火時にピチピチ音がする。	バーナ部の膨張収縮音です。異常ではありません。

◎ 修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

下記以外の症状の場合、または処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所（巻末参照）へお知らせください。その際に、症状の他、ヒータの形式名、製造番号をお知らせください。製造番号は、制御部の上に貼付してある「仕様・配線図ラベル」に記してあります。

症状	原因	処置方法
全く動かない (表示も出ない)	電源が入っていない	電源を入れてください
	停電している	
全く動かない (表示は出る)	安全装置が作動している	安全装置を確認してください（P.5参照）
	サーモ・タイマー動作中である	サーモ・タイマーを確認してください
着火しない	油タンクに灯油がない	給油してください（P.5参照）
	油タンクに水が入っている	油タンクを掃除して、きれいな灯油を入れてください（P.7参照）
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください（P.7参照）
途中失火する	安全装置が作動している	安全装置を確認してください（P.5参照）
	燃料が不良である	油タンクを掃除して、きれいな灯油を入れてください（P.7参照）
	フレームアイが汚れている	フレームアイを掃除してください（P.8参照）
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください（P.7参照）
	空気穴が詰まっている	空気穴の掃除をしてください（P.8参照）

6. 仕様

形式	HG125NII
種類	熱風式・直火形
点火方式	高圧放電点火
使用燃料	灯油（JIS1号灯油）
燃料消費量	3.6L/h
熱出力	35kW
油タンク容量	54L
燃焼持続時間	15時間
外形寸法	高さ810mm×幅565mm×奥行717mm
質量（タンク空時）	38kg
電源電圧	AC100V [50/60Hz]
消費電力	点火時：118/130W [50/60Hz]
	燃焼時：98/114W [50/60Hz]
ヒューズ	ガラス管ヒューズ3A 250V（φ6.35×ℓ30）
運転音	65/65dB（A） [50/60Hz]
安全装置	対震自動消火・炎監視・過負荷保護・過熱防止・ファン回転異常検知・異常高電圧検知・電圧低下検知・停電時安全

7. 安全ラベルの一覧

安全ラベルは、ヒータを安全にお使いになるために重要なものです。はがしたり、汚したりしないでください。ラベルの文字が消えたり、読みにくくなった場合は、販売店に注文して貼りかえてください。

取扱注意ラベル

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

警告

1. 点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上操作を繰り返さないでください。危険です。販売店に連絡してください。
2. スプレー缶などの密閉容器を加熱したり、熱風の当たるところに放置しないでください。
3. 可燃性粉じん（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生する場所では使用しないでください。
4. 空気取入口、吐出口をふさがないでください。
5. 燃焼中や消火直後は吐出口周辺は高温になっています。手などを触れないでください。

注意

1. 吐出口前方の可燃物から2.5m以上、左右側方、後方及び上方の可燃物から2m以上離してください。
2. 雨水、雪などのかかる場所では使用しないでください。
3. ヒータを使用する時は床面が高温にならないように注意してください。
4. 点火操作をした後、吐出口内をのぞき込んだりしないでください。
5. 給油は必ず消火を確認してから行ってください。

運転の手順

・運転スイッチを「入」にすると運転ランプが点灯し、数秒後に燃焼を開始します。

・一度の点火操作で着火しない場合は運転スイッチを一度「切」にして、再度「入」にしてください。

・運転スイッチを「切」にすると燃焼は停止します。

・約3分間、送風ファンが回転し運転ランプも点滅し続けます。その後自動的に停止します。

ランプの種類	表示内容
運転ランプ	点灯：正常運転 点滅：冷却運転中
失火ランプ	点滅：燃料切れ等により失火しました
過熱ランプ	点滅：本体が異常に高温になりました
対震ランプ	点滅：大きな振動を受けました
電圧ランプ	点灯：電源電圧が低下しています 点滅：燃焼ファンの回転が異常です

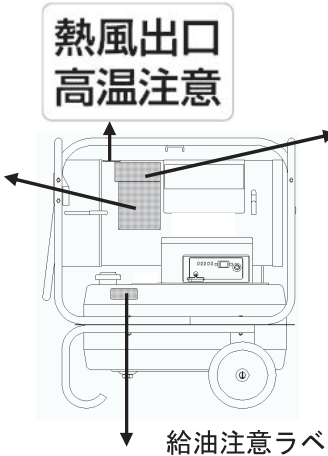
・異常高電圧検知・・・異常高電圧で検知します。
失火・過熱・対震・電圧ランプが点灯します。

・停電時安全・・・停電後に再通電したため運転を停止しました。全ランプが点滅します。

・電源を接続した時に全ランプが1秒間点灯します。

>PET< 50327-201003B

熱風出口温度注意ラベル



危険表示ラベル

警告

1. この機械は物の加温、乾燥を目的とした業務用ヒータです。
2. 家庭用として使わないでください。火力が強いため、火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

警告

日常点検・手入れ時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

危険

使用中は必ず換気して新鮮な空気を補給してください。

危険

可燃性ガス及び引火性液体の使用及び保管場所での使用禁止。

50229-201058










危険

ガソリン厳禁

必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

50229-203-009

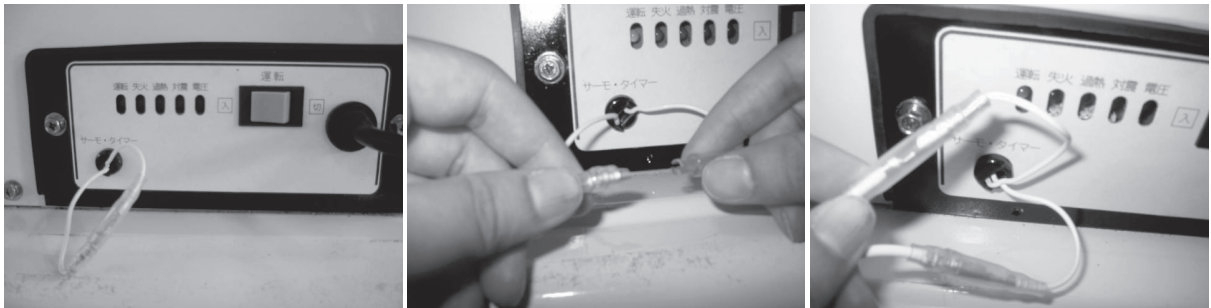
8. 別売部品について

名前	使い方												
サーモスタット	部屋などの空間を暖めて、設定温度に保ちたいときに使用します。 設定温度範囲によって、A・B・Cの3種類があります。												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">-10~50℃</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">0~100℃</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">40~90℃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td></td> <td style="text-align: center;"></td> <td></td> <td style="text-align: center;"></td> <td></td> </tr> </table>	A	-10~50℃	B	0~100℃	C	40~90℃						
A	-10~50℃	B	0~100℃	C	40~90℃								
													
タイマー	時間によって運転を行ったり、止めたりするときに使用します。24時間タイマーで15分刻みの設定ができます。												
オイルタンク95L	別置きでタンクを取付けることができます。専用タンクでは容量が足りないときに使います。 ※配管条件により、オイルレベラが別途必要になります。												

- 注意**
- ・別売部品を取付けるときは、電源プラグを外して行ってください。工具などの金属部分が電装部品に触れると、感電・破損のおそれがあります。
 - ・サーモスタットを取付けた場合、サーモスタットの温度感知部は温風が直接当たるところに置かないでください。頻繁にON（燃焼）/OFF（消火）を繰り返し、故障の原因になります。
 - ・サーモスタット・タイマーを取付けた場合、無人状態でも自動的に着火します。吐出口前方の可燃物や遮へい物など周囲に燃えやすい物を置かないでください。火災の原因になります。

サーモスタット・タイマーの取付方法

1. 電源プラグを抜いてください。
2. 操作部のサーモ・タイマーと書かれた下から出ているの白いコードの端子を外してください。
3. 外したコードのオス・メス各コネクタにサーモスタットあるいはタイマーのコードのコネクタを接続してください。



9. アフターサービス

- 修理サービスを依頼される前にP. 9の「故障・異常時の処置方法」を御覧になり、もう一度ご確認ください。

それでも異常のある場合は、お買い求めの販売店、または、最寄りの弊社営業所（巻末参照）にご相談ください。

なお、ご相談の際には、製品の異常の状態と製品の形式名、お使いの製品の製造番号をお知らせください。製造番号は、制御部の上に貼付してある「仕様・配線図ラベル」に記してあります。

- この製品には、1年間の無償修理保証書が付いていますので、大切に保管してください。なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、保証書を添えてください。

- 下記の場合は、保証の対象となりませんので、ご注意ください。

- 1) ノズル・エレメントなど消耗品
- 2) 誤使用による故障
例) 電源200V使用による電気部品の故障
- 3) 火災・浸水・落雷などの災害によるもの
- 4) 腐食性ガスの発生する場所で使用した場合の部品の腐食
例) 畜舎などアンモニアガスなどの発生する場所
- 5) その他、取扱説明書に記載してある以外の使い方による故障

- 無償修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持出来る場合は有償修理致します。販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

- 1) この期間は、経済産業省の指導によるものです。
- 2) 性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

製品保証書 [保証期間 1年]

型式：HG 125II	製造番号：—
お客様記入欄	販売店様記入欄
お名前	販売店様名称 印
ご連絡先	
ご購入日	販売店様連絡先

弊社は、上記の製品単体について、下記の通り保証いたします。

- | | |
|--|---|
| (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。 | (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。 |
| 尚、無償修理において交換された旧部品は弊社の所有物となり、弊社が任意に処分できるものとしますのでご了承ください。 | (イ) 保証書の提示がない場合 |
| (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。 | (ロ) 製品の性能等が、弊社規格内である場合 |
| (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等 | (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害(逸失利益の損害、事業の機会の損失、その他金銭的損害等) |
| (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等 | (4) この保証書は、お買上げ時の領収書などの購入履歴のわかるものと併せて保管してください。 |
| (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等 | (5) お客様をご記入されました個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。 |
| (ニ) 使用損耗や経年変化により発生する現象 | (6) 保証書を紛失された場合の再発行はいたしかねますのでご注意ください。 |
| (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合 | (7) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。 |
| (ヘ) その他上記に準ずるもの | |

【 This warranty is valid only in Japan. 】

静岡製機株式会社



- 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社 URL : <https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

北海道営業所	〒007-0804	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	関西営業所	〒661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10番8号
		TEL (011) 782-5294 (代)			TEL (06) 6432-7880 (代)
		FAX (011) 782-8258			FAX (06) 6432-7487
東北営業所	〒989-6136	宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	九州営業所	〒835-0004	福岡県みやま市瀬高町山門1841-1
		TEL (0229) 23-7219 (代)	駐在		TEL (0944) 88-9136
		FAX (0229) 21-1464			FAX (06) 6432-7487
関東営業所	〒175-0094	東京都板橋区成増1丁目17番2号	産機営業部	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300
		TEL (03) 6904-3786 (代)	産機営業企画課		TEL (0538) 23-2825
		FAX (03) 6904-0302			FAX (0538) 23-2890
中部営業所	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300			
		TEL (0538) 23-1605 (代)			
		FAX (0538) 23-1608			



インキはベジタブルインキを使用しています。弊社では、地球にやさしい印刷物を常に考えています。